

## 2012年難民関連文献一覧

※ 日本語で執筆された文献のみを取り上げる。また、難民に関する全ての国内図書、雑誌を網羅しているわけではない。

## 【図書】

- 石川えり「日本にきた難民の状況」移住労働者と連帯する全国ネットワーク編『移住者が暮らしやすい社会に変えていく30の方法』合同出版
- 小澤藍『難民保護の制度化に向けて』国際書院
- 黒木忠正『はじめての入管法——新しい外国人住民制度』日本加除出版
- 小島千尋「国内避難民の帰還支援——北部ウガンダでのJICAプロジェクト」内海成治編『はじめての国際協力——変わる世界とどう向きあうか』昭和堂
- 児玉晃一・関聡介・難波満編『コンメンタル出入国管理及び難民認定法2012』現代人文社
- 坂中英徳・齋藤利男『出入国管理及び難民認定法逐条解説』日本加除出版
- 出入国管理法研究会編著『注解・判例出入国管理実務六法』日本加除出版
- 高松香奈「難民政策の二重性——難民認定制度と申請者の不安定化」李善姬・中村文子・菱山宏輔編『移動の時代を生きる——人・権力・コミュニティ』東信堂
- 陶山宣明「ニュージーランドの難民政策」日本ニュージーランド学会・東北公益文科大学ニュージーランド研究所編『「小さな大国」ニュージーランドの教えるもの——世界と日本を先導した南の理想郷』論創社
- 長谷川美佳・王岩『アジア地域における移行経済国から日本への女性の結婚移住——インドシナ難民家族と滞日中国人家族における移民女性の事例から』KFAW調査研究報告書、vol.2012-3、アジア女性交流・研究フォーラム
- 人見泰弘「滞日ビルマ系難民のキリスト教——宗教文化とエスニック・アイデンティティ」三木英・櫻井義秀編『日本に生きる移民たちの宗教生活——ニューカマーのもたらす宗教多元化』ミネルヴァ書房
- 根本かおる『ふるさとをさがして——難民のきもち、寄り添うきもち』学研教育出版
- 山瀬恵子編『多文化社会への夜明け——インドシナ難民定住者からの学び』山瀬恵子
- 山本哲史・有馬みき／東京大学難民移民ドキュメンテーションセンター監修『難民保護を知る一問一答100——難民認定・信憑性評価篇』「人間の安全保障」フォーラム
- 赤津陽治「改革の進むミャンマーが抱える少数民族問題——難民七万五千人の背景」岩波書店『世界』836号、288～296頁
- 阿部吉雄「上海のユダヤ人難民新聞『Shanghai Jewish Chronicle』（1939年）の広告から」九州大学大学院言語文化研究院『言語文化論究』28号、223～232頁
- 新垣修「無国籍者の難民性——ニュージーランドの実践の検討を中心に（保護する責任と保護される権利の諸相）」世界法学会『世界法年報』31号、65～89頁
- 石川えり「日本における難民定住受け入れの現状と問題点」（特集：日本移民政策の転換点?——2009年入管法改正をめぐって）日本評論社『法律時報』84巻12号、22～27頁
- 岩佐光広「在日ラオス系定住者の相互扶助の展開過程」（特集：社会的排除／包摂の人類学）日本文化人類学会『文化人類学』77巻2号、294～305号
- 海老原志穂「チベット語難民共通方言の諸特徴」清泉女子大学人文科学研究科『清泉女子大学人文科学研究科紀要』33号、113～133頁
- 荻野剛史「『難民』と『移民』の差異——わが国における生活面に焦点化して」愛知みずほ大学『瀬木学園紀要』6号、47～53頁
- 片岡弘次「パキスタンにおけるピハリー難民」大東文化大学『大東文化大学紀要』50号、13～28頁
- 清未愛紗「〈私たち〉は彼女たちにいかに応答できるか——忘却されたアフガニスタン——アフガン難民の帰還問題からその存在を喚起する」市民セクター政策機構『社会運動』392号、33～39頁
- 小泉康一「転機に立つ難民定住制度（上）変質する“負担分担”の概念の中で」大東文化大学紀要『社会科学』50号、264～290頁
- 塩屋ひと美「こせき相談室（859）日本において難民（いわゆる条約難民）として認定された外国人と外国において難民として認定された外国人の婚姻の実質的成立要件の準拠法について」テイハン『戸籍』873号、47～49頁
- シャオ、F.「オーストラリア・マレーシア難民認定申請者交換協定に関するオーストラリア連邦最高裁判所判決の国内的・国際的インパクト」神奈川大学大学院法学研究科『神奈川大学大学院法学研究論集』20号、131-149頁
- 東京大学大学院総合文化研究科「特集：『移民・難民・市民権』環太平洋地域における国際移民」東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構アメリカ太平洋地域研究センター『アメリカ太平洋研究』12号
- 墓田桂詠「『開発に基づく立退きおよび移動に関する基本原則およびガイドライン』日本語訳」成蹊大学アジア太平洋研究センター編『アジア太平洋研究』37号
- 中坂恵美子「タンザニアにおける難民受け入れと負担の分担——歴史、法、EU」名古屋大学大学院法学研究科『名古屋大学法政論集』（佐分晴夫教授退職記念論文集）245号、409～471頁
- 中坂恵美子「近隣国における避難民の流出とEUの対応——出身国、近隣諸国、EU域内での保護（保護する責任と保護される権利の諸相）」世界法学会『世界法年報』31号、90～128頁
- 中村民雄「EU法の最前線（第146回）EU共通難民規則のEU基本権憲章適合的な解釈 [欧州司法裁判所2011.12.21先決裁定]」日本関税協会『貿易と関税』60巻6号、91～82頁
- 野澤基恭「人間の国際的移動と国際法——出入国管理と難民を手がかりに」平成国際大学社会・情報科学研究科『平成国際大学研究所論集』12号、55-62頁
- 藤原夏人「韓国における難民法の制定」国立国会図書館調査及び立法考査局『外国の立法——立法情報・翻訳・解説』253号、128～151頁

山本理絵「難民認定における申請者の手続的権利保障——行政手続段階を中心に」立命館大学法学会『立命館法政論集』10号、1～38頁  
渡邊彰悟「日本政府による難民政策の問題点と共生への取り組み」日本民主法律家協会『法と民主主義』473号、14～17頁

荻野剛史「『ベトナム難民』の『定住化』プロセス——『ベトナム難民』と『重要な他者』とのかかわりに焦点化して」東洋大学博士論文（社会学）、甲第314号、2012年3月

昔農英明「ドイツの難民庇護政策の質的変容過程——非移民国家からリベラルな移民国家への転換の中で」慶應義塾大学博士論文（社会学）、甲第3613号、2012年2月

宗田勝也「『潜在的難民』概念に基づくソーシャル・イノベーションの創発に関する研究——『難民ナウ！』の取り組みを手懸りとして」同志社大学博士論文（ソーシャル・イノベーション）、甲第535号、2012年3月

高木（中山）裕美「国際難民制度の成立と変容——普遍的制度の自律化と地域化の台頭」京都大学博士論文（法学）、甲第16562号、2012年3月